



千葉ウエストワイズメンズクラブ 2021年10月 (No.13)

会長 高田一彦 国際会長 キム・サンチェ(韓国) 主題 Y's Men with the World
副会長 吉崎 勇 アジア太平洋地域会長 大野勉(神戸ポート) 百年を超えて変革しよう
書記 内田久昭 東日本区理事 大久保知宏(宇都宮) 私たちは次の世代のために何ができるか?
会計 長尾昌男 関東東部部長 大澤和子(所沢) 私の地域から世界に広げよう 青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ!
担当主事 小林和弘 千葉ウエストクラブ 高田会長主題 ワイズの輪を通して社会貢献を
*千葉ウエストクラブ 連絡先 日本基督教団船橋教会 273-0865 船橋市夏見6-6-6 ☎ 047-425-6366

今月の聖句 愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れず、兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい。怠らず励み、霊に燃えて、主に仕えなさい。(ローマの信徒への手紙12章9節~11節)

千葉ウエストワイズメンズクラブ10月例会

< TW22/YIAの月 >

【創立1周年記念例会】

日時：10月16日(土)午後2時~4時

場所：日本基督教団 船橋教会 信徒館

司会 長尾昌男君 受付 内田久昭君

開会点鐘 高田一彦会長

ワイズソング・ワイズの信条

聖書朗読 内田久昭君

ビジター・ゲスト紹介

ワイズバッジ装着式 水沼昭子(てるこ)さん

創立1周年を振り返って

会長報告

YMCA報告

Happy Birthday 内田久昭、鈴木秀信君

卓話「子供食堂を始める」 河合容子さん

ドライバー 鈴木秀信君

閉会のことば 吉崎勇君

閉会点鐘 高田一彦会長

会場係：長尾、内田

創立1周年記念例会

10月例会は、昨年(2020)の10月3日に国際協会加盟認証状伝達式が行われて、満1周年を迎える記念すべき特別例会となります。1年を通して、クラブとしての推進プログラムを模索してきましたが、今月は、そのヒントとして「子供食堂の開始」を企画している河合容子さん(船橋教会員)に今月の卓話をお願いしました。

新入会員紹介



8月21日入会の水沼昭子(てるこ)さんの入会式は、先月の9月例会で執り行いました。水沼さんは、船橋教会のメンバーですが、YMCA、ワイズの良き理解者です。もとは、江東幼稚園の園長をされていたので、江東ワイズメンズクラブの皆さんとはお馴染みだと思います。その後、船橋教会のシオン幼稚園の園長も担当され、現在はキリスト教保育連盟のアドバイザーをされていますが、千葉ウエストクラブの強力なメンバーとなることは間違いありません。

今月の強調テーマ(TW22/YIA)

TWS/22 (Towards2022 = 2022年に向けて)
ワイズメンズクラブ国際協会が100周年を迎える2022年を目指して定めた発展、拡大の目標。現在、その取り組みは、「Towards2022 & Beyond」と称されて「2022年とその先に向けて」となっている。

YIA = Youth Involvement and Activities
若者のワイズメンズクラブ活動への参画・活動でワイズメンズクラブが行う様々な行事に、多くの若者達を巻き込む活動の奨励、ワイズユースクラブの育成、ユースコンボケーションの実施等を行う。

◎例会出席者は、高田会長 090-8509-0701

又はメール takawaizu@f7.dion.ne.jp
へお願いします

9月のデータ 会員9名

出席者15名(会員9名、ビジター6名)出席率:100%

千葉ウエストクラブ9月例会報告

9月18日 15時～17時 (Zoom)

出席者:内田、岡田、小林、鈴木、高田、長尾、水沼、守安、吉崎 ビジター:大澤部長(所沢)、利根川書記(川越)、金丸EMC主査(東京ひがし)、千葉クラブより石丸副会長、青木一芳(元国際会長)、青木清子(書記)

台風の影響で、急遽Zoom例会となった9月例会は、入会式と部長公式訪問が行われた。長尾昌男君司会のもと、開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条、聖書朗読に続いてのビジター紹介では、大澤関東東部部長、利根川書記、金丸EMC主査、千葉クラブより、石丸副会長、青木夫妻であった。高田会長の司式による水沼昭子さんの入会式では、大澤部長、金丸EMC事業主査立会いのもと、ワイズメンズクラブ国際協会の入会式文を高田会長が読み上げ、それに水沼昭子さんが賛同の意志を表明されて、水沼さんは、正式に千葉ウエストクラブの会員となった。(ここでのワイズバッジ装着は10月例会に) 祝辞では、大久保東日本区のメッセージを高田会長が代読し、大澤部長は関東東部の第1号と祝意を述べられ、金丸EMC事業主査、青木元国際会長が続き、水沼さんからの入会に際しての熱い思いが語られた。大澤部長の公式訪問挨拶では、「私の地域から世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ!」の主題の下、活動方針、活動計画が述べられ、特に青少年との交流、女性メンバーの開拓等が熱く語られた。そして、金丸EMC事業主査と利根川書記の挨拶が続いた。

会長報告では、カフェドフレッシュワイズに岡田君と参加したこと、Y'sナイトフォーラムの紹介、千葉YMCA 創立50周年への記念募金(一口5千円)、臨時代議委員会の法人の理事選出、また、10月例会は、創立一周年になるので、記念例会としたいとの報告があった。小林担当主事からのYMCA報告は、7つの夏の宿泊キャンプはコロナ感染対策を徹底して行い20～30名で無事終了できた。千城台アフタースクールは中止となり、預かり保育を70名のみとなっている。YMCA創立50周年の準備が着々と行われていること等が報告された。その後、近況報告が参加者全員により行われ、岡田裕三君の閉会の言葉、高田会長の閉会点鐘で9月のZoom例会の幕を閉じた。



「第25回関東東部大会」

10月2日(土)第25回の関東東部大会が、所沢クラブ主催のもと、Zoomにて約120名余の参加者で開催された。第1部の記念講演では、「人生100年時代を生き抜くために ～今あなたにできること～」と題して、萩原なつ子立教大学教授の“としまF1会議”を通して、豊島区を、「消滅可能性都市」から、「住みたい街ランキング1位」へと躍進させた経験をベースに蘊蓄のある話題が展開された。人生100年時代の4つのWorkが紹介された、Home Work(家庭ワーク)、Job Work(有給ワーク)、Study Work(学習ワーク)、Gift Work(ボランティア等の社会活動)が、老若男女を問わずに必要な。豊島区は、多様性のある社会的処方常を常に考え、誰もが自分らしく生きていける住みよい街作りと、今ある社会の課題に対して、一緒になって、多様性のある人々と一人一人の個性を出し合いながらWell-beingを目指していくと結ばれた。



第2部の部大会は、利根川部書記の司会のもとに、大澤部長の開会点鐘に始まり、澁谷ワイズの聖書朗読・祈祷、小関部大会実行委員長の歓迎挨拶、来賓紹介、大久保理事のビデオメッセージがあり、部長報告へと進んだ。大澤部長は、「私の地域から世界に広げよう 青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ!」。支えられる側から、支える側へと若者を巻き込んでのクラブ活動と女性会員を増やそうと大きな目標を主張された。金丸EMC事業主査も、関東東部新メンバー第1号で、しかも女性会員第1号の千葉ウエストクラブの水沼昭子さんの入会を紹介された。青木地域奉仕・YMCAサービス事業主査、吉田国際・交流事業主査、衣笠ユース事業主査の報告もあり、その後アップールと閉会点鐘に進んで、第二部の幕を閉じた。当クラブからの参加は、内田、岡田、高田、長尾、吉崎の5名であった。

今後の予定

- 11/6(土) 千葉YMCA 創立50周年記念会
- 11/11(木) 千葉ウエストクラブ事務例会 19:00～
- 11/13(土) 千葉クラブ例会 18:00～20:00
- 11/20(土) 関東東部第2回評議会(東陽町) 13:30～
- 11/27(土) 千葉ウエストクラブ例会 14:00～16:00